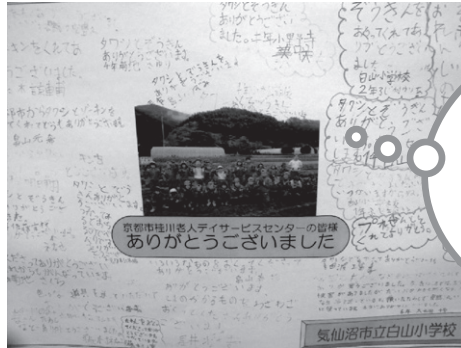


京都市桂川障害者デイサービスセンター・京都市桂川老人デイサービスセンター

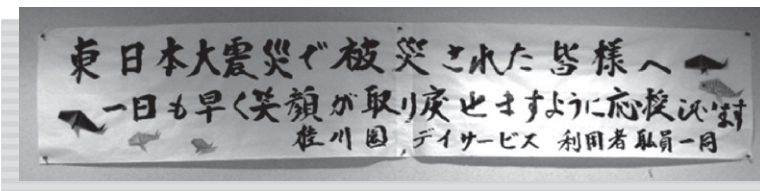
★ 遠く離れた地から、おもいよ届け！

東日本大震災が起こった直後から、利用者さんからの「私たちにも何かできないか」という声をきっかけに、取り組みが始まりました。デイサービス利用中の空き時間を使って作って下さった `ぞうきん約150枚・レッグウォーマー約30足・アクリルタワシ約60枚、その他、`玉入れの玉約60個、を気仙沼のデイサービスと小学校へ寄付させていただきました。（龍見洋子）

作って下さった方の手で袋詰めしていただきました。



「被災地の方々に少しでも喜んでもらいたい、笑顔になってもらえますように」と願っています。こうして小学校の子どもたちから返事が頂けるなんて、嬉しいです。（赤井 優さん）



←このメッセージを書いた下さった吉田吉秋さん
「テレビを見て心を痛めていました。何かの形で支援できればという気持ちで書かせてもらいました。」

義援金50,000円を送りました。

ありがとうございます

◆平成23年度 ボランティア活動報告（敬称略、順不同）

川岡東地域女性会（辻井洋子以下50名）、川岡学区洗濯ボランティア（山中よしゑ以下39名）、桂東地域女性会（山村和子以下25名）、洗濯個人ボランティア（吉田早美）、書道指導（田中綾子、牧野登喜子）、フラワーアレンジメント（高木みさを、林幸子、西尾美代子、山本孝子、人見和子）、玄関・屋上園芸（加登節子、荻野美津代、西村光子、岩橋慶和、三沢秀子）、アンサンブルクローバー（高田逸夫以下50名）、七宝焼指導（前田正子）、村下リミ子、宮入美佐子、小倉ひろみ、黒田吉郎、増山春子、壹岐美知枝、中村和子、河野テル子、竹越都子、中川恵子、森君子、井手正明、京都市立川岡東小学校（6年生 山下真優、松井龍之介、川縁結希、奥西奏美、5年生 16名、4年生 4名）、ふれあい祭りオープニング参加（林美応、長友花音）、着付け（竹中政子、市川正子、高橋美美）、同志社大学「よさこいサークル」、Kotyエレガントフラスタジオ、太田勝己、永井正俊、マジック・詩吟（石津國一）、森本真裕美、カラオケ（MK株式会社）、書道等（木瀬早苗、藤井貞子）、下坂朋子、伝統芸能南京玉すだれ「京都熱愛会」、ハワイアン・フラ・ブア・レファ、韓国舞踊・銭太鼓（スリースリースリー）

◆寄付・寄贈（敬称略、順不同）

西京区老人クラブ連合会、阪松男、（株）朱常分店、京都水産協会、京都青果協会、（株）半兵衛麩、松崎一男、桂の泉学園、徳田嘉巳、京都市立川岡東小学校、NPO法人京の園芸福祉研究会理事長溝川長雄、岡村、安田弘、山本宏三郎、堀江佳子、高橋昌子、地域・ご家族（タオル、毛糸、書道道具等）、

◆福祉学習及び体験（交流）報告

京都市立川岡東小学校4年生・5年生及びボランティア委員会の皆さん、京都市立竹の里小学校6年生研究発表「障害者研究グループ」の皆さん

編集後記

東日本大震災の発生後、被災地の福祉施設の混乱ぶりが伝えられ、自然の力の怖さをまざまざと見せつけられました。事故や災害に対する備えの重要性はこれまでも意識してきましたが、3.11後は、甘い考えは許されなくなりました。当園でも、各部署や委員会が訓練や情報交換を進めています。そうは言っても、危機管理に偏り過ぎるのは、本末転倒。日々の楽しい暮らしがあつての安全管理である事を忘れずに。生きている価値を皆が実感できる桂川園でありたいものです。（村井敏邦）

個人情報の保護に伴い写真を使用する方には同意をとっております。

桂川園のしあわせだより

にじ色の風

vol.
09

2012年 4月1日

発行 / 京都桂川園
編集 / 広報委員会
印刷 / 南ア ク ト

にじの彼方には 幸せがあり 桂川園の幸せたよりを運ぶ風

今回は災害、感染、事故などへの対応「こんな時どうする？」の問いかけをテーマに各部署、各種委員会の取り組みを紹介します。

京都市桂川地域包括支援センター

高齢者の方々が 地域で暮らし続ける ために

平成23年度は東日本大震災の後でもあるので
`災害時の助け合い、について
地域ケア会議の中で一緒に考えました！

地域ケア会議（各学区：年3回）

地域ケア会議は、生活圏域のニーズをもとにして、地域の関係機関や行政等との連携を強化し、社会資源の改善や開発を図ることによりみんなで支えあえるよう情報交換しています。
メンバー：地域の民生委員さん、老人福祉員さん、社会福祉協議会さん、自治連合会さんを中心に、医師会の先生、保健センター、消防署、警察、福祉事務所、予防推進センター、地域密着型サービス事業所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センターなど。



（川岡東、桂東、川岡、桂東学区合同）

災害が起きても、すぐに役所や消防、警察も動くことは困難となってきます。日頃からご近所さん同士の関係づくり（＝助け合い）や情報共有が、命を救うための動きとして重要となってくることをみんなで話し合うことができました。京都桂川園も地域の一員として、地域の高齢者の方や地域関係者の方とお話しをしていく中で常に情報収集していくことの大切さを再確認しました。（地域福祉部長：恒岡知津江）

私たち

京都市桂川地域包括支援センターは、高齢者の介護等に関する総合相談窓口、地域連携、高齢者虐待への対応や権利擁護、介護予防支援があります。地域の中の高齢者の不安に寄り添い、安心して暮らせる町づくりをめざし、地域の方々と共にこれからも考えていきます。

たくさんの地域関係者の方にご参加頂きありがたいと実感しています。

●困った時にどこに相談に行ったらいいのかなあ

●桂川の堤防が決壊したらどうしよう

●備蓄食糧はどこに置いてあるの？

●避難場所は今の所でいいの？高齢者には遠すぎて行けないかも

●情報共有が大事よね

●近所付き合いが減ってきているよね

●小学校の門の鍵は誰が持っているの？

●防災訓練にもっと参加しとかなんかね

●自治会に加入していない人が増えたよね

●誰がどこにいるのか知らない日頃の訪問活動が大切

●仮設トイレの設置って思ったより難しいらしいよ

●引っ越ししてきた人や、ご主人が施設入所され、一人暮らしになった人は把握できてないよね

地域ケア会議の
声

*安全衛生委員会

もし地震や火事が 起こったら…?

宿直職員

消防への正確な情報の提供に重点をおいた訓練を行っています。

★避難訓練★

年2回 西京消防署立会の下、主に職員が手薄となる夜間想定で実施しています。
訓練内容：通報／初期消火／避難誘導

利用者さんを安全な場所に移動

夜間職員

- ①屋内消火栓などを使用して初期消火
- ②利用者さんを火元から遠いフロアーの一隅へ避難誘導
- ③最後に利用者さんの避難もれなどの確認

化繊の毛布だと廊下すべりやすい!!

大きな災害が続いていますが、地道な避難訓練が緊急時には役立つものと考えています。常日頃から防災意識の向上に努めていきます。(委員：柏木幹史)

認知症デイサービスセンター玉頭の家

もしもの火事に備えて避難訓練!!

西京消防署の指導のもと、火災発生時の対応マニュアルに添って消火活動し、利用者さんを避難誘導します。



- ①できるだけ早い消火活動!
- ②利用者さんの安全を守る!

毛布を使って避難もできます!

歩いて避難できない場合でも毛布を使うことで「いざ!という時」には有効ですね。(生活相談員：南部 勝)

安全なところに素早く利用者さんを誘導します。(生活相談員：上田健次)

安全に外へ誘導!

普段使うことがないので、使い方を忘れてることもあります。もしもの時には、マニュアルをもとに素早く行動に移していくこと、落ち着いて冷静に行うことが大切です。(管理者：高木亜季子)

消火器の使い方再確認!

*リスクマネジメント委員会

もし事故が起こったら…?

日々の支援・介護の中で起きてしまった事故やヒヤリハット…

同じような事故をまたと起こさぬために! 各部署で対策を検討し、委員会で他部署と情報共有しています。事故に対する危機意識を高める取り組みとして、園全体で研修も年に2回行っています。

京都市桂川障害者デイサービスセンター 京都市桂川老人デイサービスセンター

もしものとき不安なことはありますか? 利用者さんへインタビュー!

家で一人だとときに震災が起こったら…と思うと不安ですが、デイサービスにいたらお友達や職員さんがいるから心強いです。(榎木君子さん)

昨年大雨が降ったとき、桂川の水量が危険水域レベル3ということを知り、職員さんから伺いました。家にいたら、そんなことも知らなかったと思います。(小野和子さん)

家族やヘルパーさんがいるときはいいけど、一人で留守番しているときの緊急時の連絡方法が悩みです。(石川京子さん)

☆☆人とのつながりの場、情報交換の場、デイサービス☆☆

震災後、在宅で多くの不安を感じておられる利用者さんが多い様子…。安心してデイサービスで過ごしていただけるように努めるとともに、在宅での暮らしに役立つ情報をお伝えすること。また暮らしの不安に耳を傾け、少しでも不安を解消することもデイサービスの役目だと思っています。(介護職員：堀井 浩)

京都市桂川特別養護老人ホーム

もし感染症が流行ったら…?

約50名の利用者さん達が毎日の生活を共にしている特養。日々の業務の中に感染症予防の対策を取り入れています。



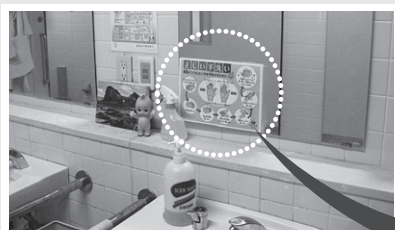
皆さんが集い、食事をする食堂のテーブルは消毒・除菌効果のある薬品を使用したタオルで、1日1回掃除を行なっています。

食べこぼしなどによる椅子の汚染にも薬品を使用し、丁寧・迅速に!!

食事の手、指等を優しく綺麗に!



■手洗い推奨
1つの介助後に1回の手洗い・消毒の徹底を意識しています。また食事前に利用者さんの手指に消毒を行なっています。



洗面所に正しい手洗いのポスターを貼り、利用者さんや職員に意識を持ってもらっています。

実際の場面を想定しての嘔吐物処理について、真剣に講義中!

(介護職員：城岸有香・利 江里子・猪俣 円)

桂川居宅介護支援事業所

「防災」から「減災」という意識へ

自然災害発生時、いかにして二次三次災害を減らすか…。日頃からの減災への「意識啓発」の呼びかけが必要だと感じています。現在当事業所では、停電時の医療、福祉機器の緊急対応方法や管理方法、災害時の連絡リストを作成中です。完成次第、利用者さん、ご家族の皆様へ訪問時にお知らせしていきたいと思っています。(管理者：田中智巳)

*感染対策委員会

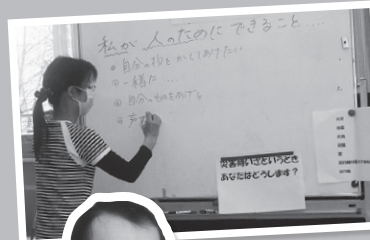
インフルエンザ、ノロウイルスが流行する冬場、なんと言っても「手洗い・うがい」がとても大切です! 職員や利用者さんに対して啓発したり、実際に「正しい手洗いの研修」をしたりと、施設として感染症が流行しないように努めています。



▲正しい手洗いのポスター

京都市桂川療護園

震災時いざというとき あなたはどうしますか



タバコも気をつけて

「震災時いざというときあなたはどうしますか」というタイトルで、学習会を開きました。聞いてみると利用者さんは様々な心配をされているようです。施設がそれにどう応えるか。真価が問われます。(介護職員：村井敏邦)

どうして逃げたらいいんですか

雨降ったら、高い所に逃げます

雷が落ちて、火事になったらどうしましょ。火が怖くて怖くて

桂川があふれたらどうしょ

家族のことが心配

福井の原発事故で、避難区域になったらどうするかで心配してる人がいるで